

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
URL http://www.jaichi.jp TEL 052 916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX 052 916-2308

2004.11.10
No.888

発行責任者 梅野敏基 定価 10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

平和求める
3200人の参加者
名古屋市公会堂は超満員



和太鼓ユニット光の熱気あふれる演奏



平和の大切さを訴える長野さん親子



横井久美子さんの歌声が会場に響きわたります

各分野から平和・戦争体験から憲法への思いを語る6人のリレートークが始まり、最初に母子で壇上に上がった長野玲子さん(めいさん生協理事)。「次世代へ

平和を語り継ぐことの大切さや初めて平和行進、広島の世界大会への参加など私なりにできることをはじめています」と9条Tシャツを着ての訴え。「戦争する

日本にならないために政府を包囲しよう」と在日コリアンの文重烈さん、俳優の山田昌さん、戦争は母と子の悲劇をもたらず。戦争体験を伝える活動を続けたい」などと訴えました。

後半には横井久美子さんのソロコンサ

憲法の条を守る!! リレートークに共感の声



「福祉予算削るな! 福祉を金もうけにするな! 10-31 愛知県民集会」

憲法公布58周年の11月3日、名古屋市公会堂で憲法9条を守る市民のつどいが開かれました。開場前から鶴舞駅まで続く長蛇の列。大ホールはもちろん4階ホールも満員で3200人を超える参加者に、参加者も互いに励まされる集会となりました。



午後1時の開演とともに和太鼓ユニット光(KOH)の演奏がはじまりました。横笛の音色が会場いっぱい響き、さわやかで艶やかな熱気あふれる和太鼓演奏。続いて俳優・天野静雄さんの司会で集会は始まりました。天野さん自身の戦争体験もまじえて、平和憲法を守るためにこんなに

たくさんの人たちが集まったことへの感激が語られました。呼びかけ人の成瀬昇氏は憲法を邪魔者あつかいする勢力に負けない集会にしようといさつ。壇上に生けられた生活をいける華道「華原の会」の原田嘉美子

さんのお花が集会を彩りました。

福祉予算削るな 保育署名推進に全力 白川公園に1000人集う



場の実態を報告しました。集会のオープニングを公民の保育士たちが構成劇とダンスで訴え、20人以上でダンスに参加した名古屋市職労健康福祉局支部の島田紀子さん(写真下)も、練習は3〜4回でしたが、楽しく踊ることができました。保育署名を広げるために11月3日の全国集会・東京でも元気いっぱい踊りま



中央が島田さん

愛知県民集会」が開かれ1000人が集いました。集会では保育の運営費補助金削減を許さない、障害者の利用助成削減ストップなどの訴えがありました。また、高齢者介護に関わって、なごや介護福祉労組の舟橋薫さんがヘルパーの現

場の実態を報告しました。集会のオープニングを公民の保育士たちが構成劇とダンスで訴え、20人以上でダンスに参加した名古屋市職労健康福祉局支部の島田紀子さん(写真下)も、練習は3〜4回でしたが、楽しく踊ることができました。保育署名を広げるために11月3日の全国集会・東京でも元気いっぱい踊りま

す」と笑顔が素敵でした。集会前に訪問した名古屋市天白区の民間保育園「めばえ保育園」に二人の子どもを預ける中野智里さん(写真上)にもお話をうかが

学事労など県関係組合のたたかいいよいよ山場

「退職時特別昇給廃止」働きつづける条件拡大めざし全力

国の「退職時特別昇給」廃止をうけ、総務省は地方自治体にも「早急な廃止」を強要。愛知県下でも「退職時特昇」廃止の攻撃が強まっています。愛知県当局の動き、学事労の奮闘を紹介します。

愛知県当局は6月29日、「退職時特別昇給廃止」の提示をしてきました。愛知県当局は廃止の理由に「国や全国的な状況、他の特昇への波及など」をあげ、9月議会にむけて「廃止」を強く迫っていました。

7月段階に「県関係組合側が廃止やむなし」と判断」との誤解を招く報道がありました。学事労をはじめ県関係組合は粘り強く奮闘。「昨年度の退職手当削減、昇給停止・延伸と給与削減措置が続く中、職員へのさらなる痛手であり、拙速な実施は許さない」と追及。他県動向などを引き続き調査することを当局に求め、9月議会決着を許しませんでした。

しかし、県当局は10月29日、改めて「総務省指導、マスコミ報道・県民の視点から要望にこたえることができない」、「本年度退職者から特昇廃止」と提案。これを最終とする立場を示しました。学事労は、他の県関係組合と11月4日に統一決起集会を開催し、安心して働き続けられる制度実現をめざすたたかひの強化を図っています。

愛知県下の各自治体でも厳しい状況が続いています。が、粘り強くたたかひ要求前進を勝ち取っていきましよう。

妊娠・出産費用は公費で 安心して子育てできる社会に

5年過ぎても給料が
わずかが上がらない

豊橋市役所の住宅課に勤務する桑名闘志也さん(27歳)は採用5年目です。就

シリーズ 家族酷書

豊橋市職労 桑名闘志也さん



職1年目で結婚し、今は3歳と1歳の2児のお父さんです。しかも来年1月には3人目が生まれる予定とか。少子化時代に貴重な家庭です。

その1

奥様は結婚と同時に仕事をやめ、専業主婦をしています。住まいは豊橋市内の民間アパート(4DK)で、家賃は月69000円。就職してか

1週間のメニューで食料品をまとめ買い!!!

1日/月	カレーライス
2日/水	チャーハン・わかめスープ
3日/木	外食
4日/金	オムライス・ポテトサラダ・コンソメスープ
5日/土	たまごめか飯・焼きそば・みぞれ
6日/日	いじりそば・しいたけの塩焼き
7日/月	
8日/火	ラーメン・餃子

ら定期昇給はあるものの、基本給マイナスや一時金のカットなどマイナス人勸の影響で、月々の給料はわずかしかが上がっていません。一週間の献立をもっと(食料品の買い出し) 子どもが小さいために、食費は月に25000円と比較的抑えています。毎日の苦労があるようですが、一週間の夕食の献立表を作って、食料品を無駄なく

買いためておけるので、現在、妊娠中のために産婦人科への医療費がかかり家計を圧迫しているのが悩みとか。奥様は、「妊娠・出産にかかる費用を私的なものでなく公費でみてほしい。少子化を改善するためには絶対必要」と語ります。ちなみに2人目の出産時に必要なお金を借金したそうです。償還払いではなく、現物給付をという願いは切実です。

今は休止中だそうです。生活できる資金を! 社会保障の充実こそ必要 豊橋市職労青年部では、賃金問題や情勢についての連続学習会を行っています。しかし、若者の中には、「国が導入を狙う『能力・成績主義』で評価され給料が上がるなら賛成とか、残業手当で毎月の収入を増やすしかない」と考える人がいるといいます。

冬のボーナスは使いみちがほとんど決まってしまう、わずかに買い物をするくらいで貯蓄をするのも大変。普段は外食をほとんどせず、ランチ程度で済ませるといっています。 ちなみに子どもさんの学資保険も第1子には掛けていましたが、経済的に続か

写真 かわいい子どもたちと奥さまの桑名さん一家 桑名さんは、「生活できる資金の保障と同時に、社会保障など安心して子育てできる社会にしていきたい」と、力強く語ってくれました。



新聞は読むだけでなく 見て、レイアウトを盗もう

10月23・24日の両日、労働会館で第9回あいち機関紙宣伝学校が開かれ、22労組から80人が参加しました。この学校は職場新聞づくりの運動を前進させようとして、自治労連・愛労連・東海共同が共催で毎年開催しているものです。 1日目の全体会はジャーナリストで中部大学教授の小中陽太郎さんが、「マスコミ報道の現状から考える」と題して記念講演。報道する姿勢をいつも持ち続けることが大切と指摘。 2日目は各コース「初心者」「ステップアップ」「ピラ作り」「デジタル」「パーソナル編集長」に分かれてみっちり学びました。初心者コースは講師の田上(元県本部副委員長)さんにごかれながらも、レイアウトがうまくなる秘訣は「新聞を読むだけでなく見て盗む」ことを学習しました。



10.28 総行 早期から夜まで行動 住民との共同広げて

10・28地域総行 当日は、各駅頭で、早期宣伝行動が行われました。日中の行動としては、名古屋市内での各地域労連のトヨタディーラー要請行動や県内各地域の自治体要請、ピラ配布、商工会議所・職安への要請など多彩に取り組みました。また、名古屋各地域

職場では、学習会やつどい、要求交流集会などとりくみ交流しました。中村区ではこれまでに50人近い参加者が要求交流集会に参加し、行政にたいする市民要望などを出し合う活気ある集会となりました。

職場の声

職場がかわり毎日毎日笑いすぎてシワがふえそう。でも仲良くやれるってやっぱりシ・ア・ワ・女鈴木弥生(西尾市職) 今の職場はあいちの仲間もきちんと回覧してくるのでこうやってクイズにもとりくめるよう

新潟中越地震 余震が続く中 被災地支援

震度6強の地震が連続して起きた新潟県中越地方。余震が続くなか、非難した住民は34市町村で約10万人を超えました。10月23日の地震発生から4日たった27日から全労連のボランティア窓口も開設をはじめました。自治労連愛知県本部も被災地長岡市へ11月4日から7日に伊藤副委員長を先発隊として送り出しています。



新潟中越地震被災地支援カンパにご協力ください。また、支援ボランティアについては愛労連とともに今後具体化して支援の協力を呼びかけます。



イラストも神谷一恵さん(西尾市職)

単組定期大会 & 新役員紹介

蒲郡社福労(10月28日) 執行委員長 尾崎 幸子 副執行委員長 壁谷 満弘 同 廣瀬 紀子 書記長 今泉 聖一 書記次長 岡田 隆二